



パネルディスカッションは、討論の一つです。あるテーマについて、異なった考えをもつ討論者が意見を発表し、討論した後、聴衆も討論に加わる形式で進みます。

パネルディスカッションの効果

パネルディスカッションをすることによって、次のような効果があります。

- ① 調べたことやまとめたことを自分の意見の根拠にして、話す力が伸ばせます。異なる立場からの意見を出し合い、よさや問題点を討論するパネルディスカッションでは、準備した資料などにもとづいて明確に述べ合う力を伸ばせます。そのためには、本などで調べたり、インタビューやアンケートを行ったりして、幅広く考え、資料を準備しておくことが必要となります。
- ② 異なる複数の意見を聞くことで、自分の考えを見直したり深めたりすることができます。討論では、討論者はもちろんのこと、聴衆も意見交換に加わります。討論では、異なった視点からの意見が出たり、新たな提案が行われたりします。それぞれの考えを正しく聞き分けて、質問をしたり意見を述べたりすることを通して、自分の考えを深めます。

パネルディスカッションの展開例

- ① 討論の内容と、討論者（パネリスト）の紹介
- ② 各討論者による意見発表
- ③ 討論者による討論
 - ・ 各討論者によるほかの討論者への質問や反論
 - ・ 司会者（コーディネーター）による話題の整理
 - ・ 討論者による討論
- ④ 全体討論
 - ・ 司会者による論点の整理
 - ・ 聴衆（フロア）も参加した全体での討論
- ⑤ まとめ
 - ・ 各討論者によるまとめ
 - ・ 司会者による討論全体のまとめ



【論題を決めるとき】の留意点

- ① 身近な問題で、討論する価値があるもの
- ② 立場がいくつかに分かれると予想できるもの
- ③ 身近な問題で、情報が集めやすいもの

【役割】

討論者（パネリスト）：…論題について異なる意見を持ち、代表で意見を述べる。
 司会者（コーディネーター）：…全体の進行を行う。
 聴衆（フロア）：…討論を聞きに集まった人。討論者の討論を聞き終わったら、全体討論に加わる。

【会場配置図の例】

